

AI活用 Java・Python プログラミング科(eラーニングA)(託児)



ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——

※このコースはDX推進スキル標準（経済産業省及び独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が策定）
対応の訓練コースです。

12月Start！

基本的なプログラミングの 仕組みを学習できる！

安心して受講いただけるように訓練生それぞれの
習熟度をチェックし、習得状況の把握に努め、
親身に対応します。



本講座のPOINT①

JavaやPythonを用いたプログラム作成、既存ソフト
の解析・改修、テストや設計補助といった開発業務
ができます。また、一般事務における自動化ツール
の作成やデータ集計など、ITを活用した業務効率化
にも対応でき、ITSSレベル1以上の資格取得を目指
します。



本講座のPOINT②

- ◎PC、ルーター：希望者全員に無償貸与します！
※PC・ルーターの貸与を希望されない場合、通信費は受講者
ご自身のご負担となります。
- ◎受講料は無料です。



本講座のPOINT③

【連携託児サービス】

社会福祉法人 美桜里会 桜花第二保育園
さいたま市大宮区桜木町4-570-1

- 対象年齢 1歳(離乳食が完了している)～5歳児
- 利用時間 9：00～17：00

※オムツ代は自費になります。
※訓練受講者の費用負担はありません。
※託児施設の空き状況により利用できない場合もあります。
※この訓練コースは託児サービスを利用されない方でも受講可能です。

受講生募集期間

2026年 10月 22日(木) ～ 2026年 11月 24日(火)

* お申込みにはハローワークでの職業相談が必要です。募集期間の前から随時、相談できます。

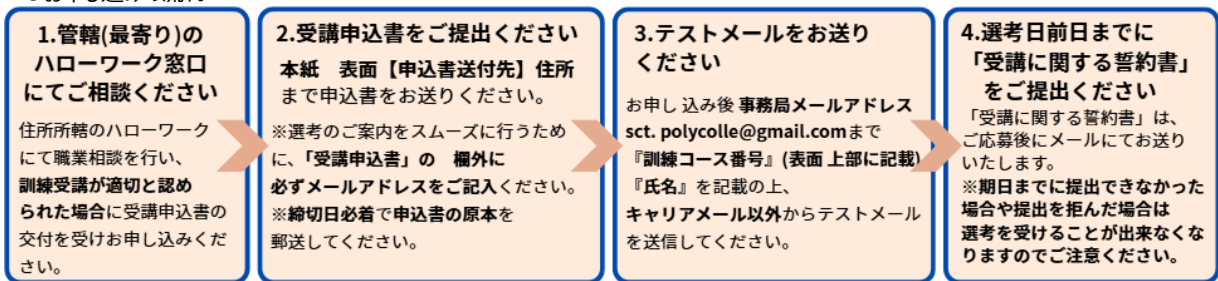
まずは最寄りのハローワークにお問い合わせください⇒



ハローワークMap

●訓練期間	2026年 12月 16日(水) ～ 2027年 6月 15日(火)	6 か月
●総訓練時間	529 時間	
●訓練の目標	ソフトウェア開発やシステム開発を行う情報処理サービス事業所において、Java、Python等のプログラミング言語を用いたプログラムの作成、既存ソフトウェアの解析・改修、テスト及び設計補助の作業ができる。また、一般企業の事務部門等において、業務の自動化ツールの作成やデータ集計など、ITを活用した業務効率化の作業ができる。	
●訓練対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護中の者、居住地域に訓練実施機関がない者、在職中の者等、訓練の受講に当たり特に配慮を必要とする者 ・インカメラ付きPC（Windows11以上）とネット環境を用意できる方 ・PC基本操作（タッチタイピング、Office）ができる方 	
●定 員	12 名 *最少開講人数6名（応募人数が最少開講人数未満の場合、中止することがあります）	
●自己負担額	教科書代：14,850円（税込）※価格が改定される場合があります。 パソコン、ルーター：無償貸与 ※PC・ルーターの貸与を希望されない場合、通信費は受講者ご自身のご負担となります。 託児サービス利用者の実費負担分 *一定要件を満たす場合、受講補助として月10万円の「職業訓練受講給付金」が支給されます。詳しくはハローワークでおたずねください。	
●目指せる資格	Python 3 エンジニア認定基礎試験、Oracle Certified Java Programmer,Bronze SE、Oracle Certified Java Programmer,SilverSE17 ※任意受験の受験料は別途自己負担になります。	
●訓練実施施設 (受講申込書提出先)	株式会社ソラコムサイテック 埼玉支部 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目398-1 アドグレイス大宮 7階 TEL：050-3785-3826（受付時間：平日9：00～17：00） 担当：タン・ペギー、古川（コガワ） email：sct.polycolle@gmail.com	
●訓練実施機関	株式会社ソラコムサイテック	

●お申し込みの流れ



●訓練カリキュラム

【訓練概要】

主要なプログラミング言語であるJavaとこれからの言語として大きな期待を集めるPythonの学習を中心に実践的な技能を身に付ける。

【eラーニングコース（PC貸出有（無料）、モバイルルーター貸出有（無料））、IT資格、オンライン対応コース、DSS対応】

科目		科目の内容	訓練時間
学 科	就職支援	履歴書・職務経歴書作成指導、ジョブ・カード作成指導、面接指導	6時間
	安全衛生	情報機器作業と安全衛生	2時間
	IT基礎知識	システム開発の工程	19時間
		自社開発・受託開発・SESの概要	
		情報セキュリティ対策、デジタルデータに係る情報セキュリティの重要性	
		課題解決型のマインドと構造的な思考アプローチ	
	Webデザイン演習	HTMLを用いたWebページの作成	21時間
		CSSを用いたWebページのデザイン	
		JavaScriptを用いたWebページの作成	
	Javaプログラミング演習	Javaの基本構文を使ったプログラミングの実施	85時間
Javaのオブジェクト指向を使ったプログラミングの実施			
Javaの標準APIを使ったプログラミングの実施			
Javaプログラミング実習	MVCを使ったプログラミングの実施	85時間	
	Javaを用いたWebアプリケーションの作成		
	DAOを用いたデータベース連携		
	Pythonプログラミング演習		基本的な変数とコレクションを使ったプログラミングの実施
基本的な条件分岐、繰り返し処理などの制御文を使ったプログラミングの実施			
Python特有の処理を使ったプログラミングの実施			
Pythonプログラミング実習		応用的なアルゴリズムのプログラミングの実施	86時間
	応用的なコレクション、制御構文の使い方の実践		
データベース基礎演習	データの登録、変更、削除、取得の実施	43時間	
	テーブルの結合と作成の実施		
	トランザクション管理の実施		
ソフトウェア開発演習（生成AI活用）	ソフトウェアの設計の実践演習（設計業務の補助として生成AI活用）	85時間	
	要件に応じたプロンプトの作成及びコーディング作業の効率化		
	完成したソフトウェアのテストの実施		
職業人講話		「IT業界で働く人の現場の声」（株）Sola.com（6時間）	6時間

●開講式・オリエンテーション(12/16(水)13:30-15:30) ●修了式(6/15(火)10:00-11:00)

●対面指導(訓練期間中週1回9:00-17:00の間で1時間)

●就職支援(12/24・2/25・3/25 14:00-15:00、1/26・4/27・5/25 13:00-14:00)

●キャリアコンサルティング(訓練期間中に2ヶ月に1回のペースで全3回実施します。日時は約1ヶ月前に調整致します。)

※対面指導、同時双方向型授業及びキャリアコンサルティングは、土日・祝日に実施する場合や、終了時刻が最大20時となる場合がございます。

※本コースは、完全オンライン訓練のため、通所は一切ございません。

★事前説明会は実施しておりません。お申し込みをご検討の際にご不明点がございましたら、表面に記載の連絡先まで、お電話またはメールにてお問い合わせください。

●選考について

選考日 2026年 12月 2日(水)
 時間 後日事務局からお知らせします。
 会場 オンライン(ZOOM)による面接(15分前後)
 選考方法 面接、Googleフォームを使ったPCスキルの確認
 ※スマートフォンからも参加可能
 持ち物 特になし

選考結果発送日 2026年 12月 8日(火)
 ※受講希望者は、選考日の前日までに「受講に関する誓約書」を提出する必要があります。提出しなかった場合は、選考を受けることができませんので、ご留意ください。

①ご自身のPC・ルーターを使用される場合について
 パソコン: OS:Windows11(Mac/Linux不可)CPU:インテルCoreプロセッサ第7世代以上(Core i5 以上推奨)
 または AMD Ryzen プロセッサ 第2世代以上(いずれも2コア以上・2.0GHz以上推奨)
 メモリ: 8GB 以上 ストレージ: 256GB 以上 (SSD推奨)
 - インターネット環境: オンラインによるビデオ通話を支障なく行える速度
 (目安: 上りと下りの双方で実測値が1.5Mbps以上を満たす固定回線・モバイルルーター回線)
 ※上記を満たさない機器での受講参加をご希望の場合は、動作不良や学習進行への影響について、ご自身の責任にてお願いいたします。

②訓練カリキュラム: 1週間程度の期間を要する分量で内容に関連性が認められるものを「ユニット」とし、各「ユニット」受講終了毎に確認テストを実施します。
 ※習得度確認テストにおける正答率が3回連続で8割未満の場合、又は、未受験の習得度確認テストが4ユニット分に達した場合には、訓練実施機関は当該受講者を理由を問わず退校処分とします。

③貸与する通信機器の通信量は無制限ではありません。使用される場合は、通信量上限に達しないよう、計画的にご利用ください。

まずは最寄りのハローワークにご相談ください。
 ハローワークMap



厚生労働省・制度説明
 「求職者支援制度のご案内」で検索

